

(基本政策)

幸せな暮らしを共に支えるまちづくり

まちづくりの基本目標

川崎の特徴や長所を活かし、
持続型社会の実現に貢献する

協働と協調のもとに、いきいきと
すこやかに暮らせるまちをつくる

自治と分権を進め、愛着と誇りを
共有できるまちをつくる

基本政策の枠組み

基本政策

「幸せな
暮らしを
共に支える
まちづくり」

施策体系イメージ

自助・共助・公助の
しくみを育てる

ノーマライゼーションを
進める

安心な暮らしを
確保する

すこやかで
健全な暮らしを守る

地域での確かな医療を
提供する

今後取り組むべきと考えられる主な課題

共助社会を支える地域福祉
の充実

地域を支える市民活動の推
進

高齢者パワーの活用

介護予防の推進

障害者福祉

生活保護

健康づくり

医療 等

基本的視点反映のポイント

地域の存在感や果たす役
割が大きくなる中で、市民一
人一人の自立に向けた活動
と自己決定を尊重する

共に支え、課題を解決して
いくという、地域における自
助・共助・公助の基本的な
考え方を根付かせる

地域で活動するさまざまな
団体などと力を合わせ市民
生活を支援する効果的でき
め細やかな施策を展開する

政策に反映すべき基本的視点

新たな時代にふさわしい価値観の
創造と先駆的な取組を進める

首都圏の好位置にある
川崎としての個性を活かす

相互信頼に基づき自立と
自己決定を尊重する

市民が実感できる効果的な政策
を経営的視点に立って創造する

事例

「政策に反映すべき基本的視点」に基づく施策の展開例

自助・共助・公助のバランスのとれた地域福祉の推進

- ・自立を支える地域福祉(小地域～区レベル)の推進に向けて
- ・福祉団体、事業者、NPO等の活動の促進に向けて
- ・安心な地域生活の構築をめざして

施設型福祉施策の転換

～「施設」から「地域」へ～

- ・地域生活支援と自立の促進をめざして
- ・新たな時代にふさわしい多様な住まい方への支援に向けて

施策展開のイメージ

総合的な福祉サービスを提供できる体制づくりに向けて

- ・サービス利用者の立場に立ったサービス供給体制づくりの推進(安心してサービスを受けられる)
- ・総合的な福祉サービスの供給体制づくりの推進(多様なサービス体制の育成・支援)
- ・市民参画と協働による地域実情や特性に見合った福祉の推進(地域のつながり)

< 高齢者施策 >

- ・介護・支援中心の施策から介護予防に
重点を置いた事業展開
- ・特別養護老人ホーム待機者への対応と
居住支援

< 障害者施策 >

- ・地域生活支援と自立の促進
- ・自らの多様な生き方の自己選択・自己決定
- ・本人・家族の高齢化への対応